

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第20週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 7 例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	女	頸部リンパ節結核	発熱
			80 歳代	女	頸部リンパ節結核	左頸部リンパ節腫脹
		小林	60 歳代	男	肺結核	発熱
		高鍋	50 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		日向	60 歳代	女	肺結核	発熱、膿胸
90 歳代	女		無症状病原体保有者	—		
5類	梅毒	宮崎市	20 歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

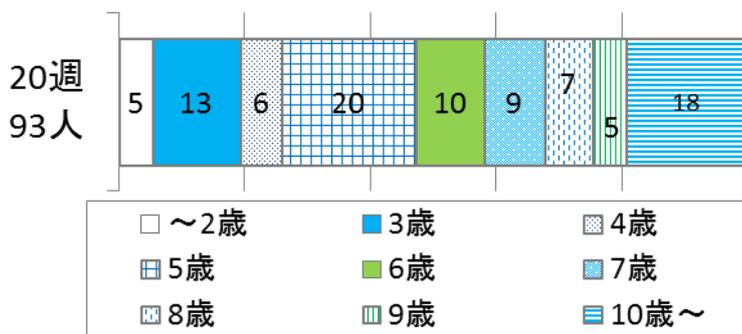
・定点医療機関からの報告総数は 731 人 (定点当たり 21.9) で、前週比 86%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は水痘と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は 93 人 (2.6) で、前週比 77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (2.9) の約 0.9 倍であった。日南 (8.0)、中央 (6.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は下グラフに示す。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別報告数

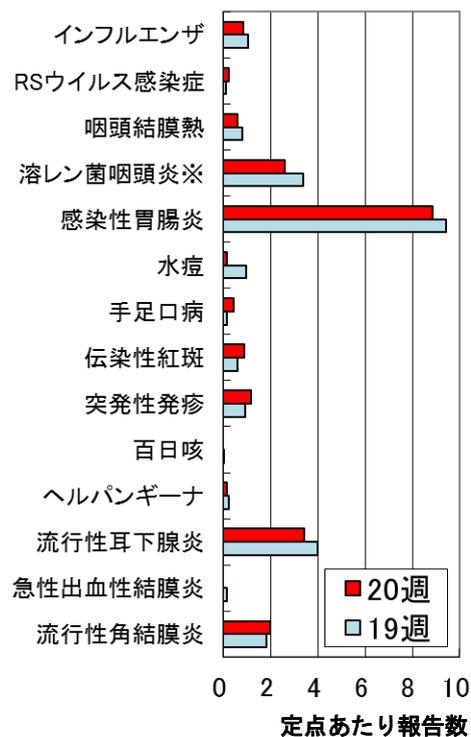


##### 【流行性耳下腺炎】

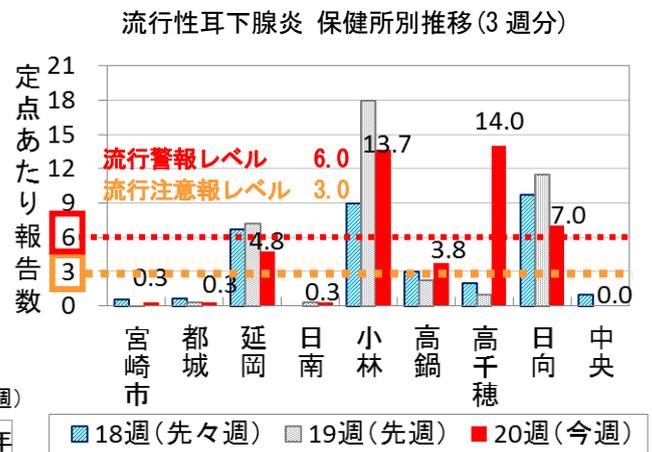
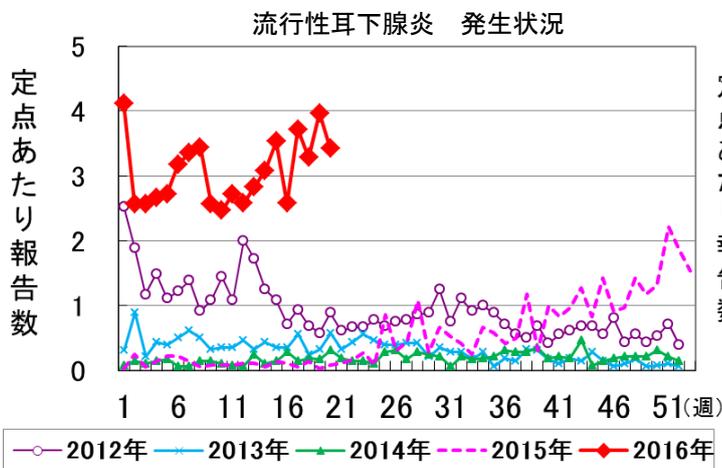
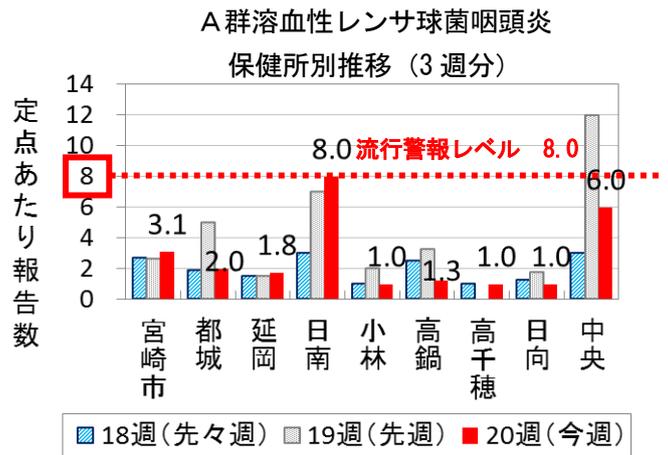
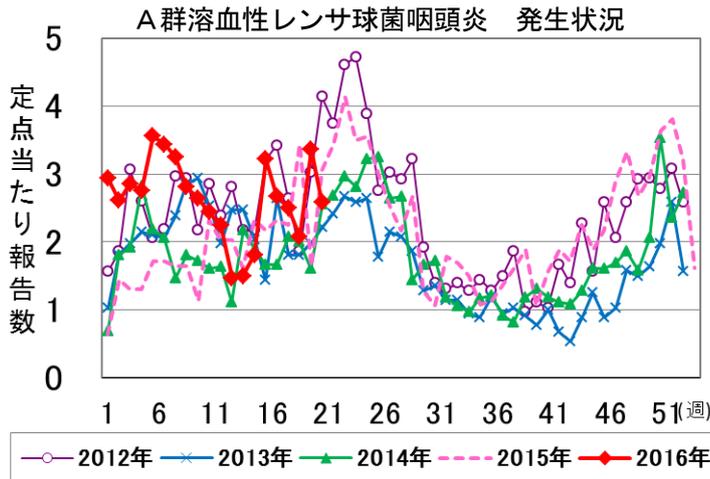
・報告数は 123 人 (3.4) で、前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.71) の約 4.8 倍であった。高千穂 (14.0)、小林 (13.7)、日向 (7.0) 保健所からの報告が多く、年齢別では 3~5 歳が全体の約 5 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》



※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：延岡保健所から2例報告があった。0～4歳、5～9歳が1例ずつであった。
- マイコプラズマ肺炎：高鍋保健所から1例報告があった。10歳代が1例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：日向保健所から1例報告があった。0～4歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(4.8)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
小林	伝染性紅斑(2.0)、流行性耳下腺炎(13.7)
高鍋	流行性耳下腺炎(3.8)
高千穂	流行性耳下腺炎(14.0)
日向	流行性耳下腺炎(7.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 28 年 5 月 23 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	20歳代	女	2016.4.26		便	2016.5.11
EPEC (OUT:HUT)	20歳代	女	2016.4.28		便	2016.5.13
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	女	2016.5.1	肺炎	咽頭ぬぐい液	2016.5.9
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2016.5.6	咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2016.5.10
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	70歳代	男	2016.5.6	咳	咽頭ぬぐい液	2016.5.10
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	60歳代	女	2016.5.6	咽頭炎、連続性咳嗽	咽頭ぬぐい液	2016.5.10
<i>Salmonella</i> Infantis (O7:r:1,5)	10歳代	男	2016.5.7		便	2016.5.12
<i>Campylobacter jejuni</i>	0~4歳	男	2016.4.26	出血性大腸炎	便	2016.5.12

○5月に入り、乳幼児および成人4名の咽頭ぬぐい液から百日咳菌が検出されている。百日咳検査の gold standard は菌の分離であるが、抗菌薬投与後やワクチン既接種者、成人では難しいとされ、遺伝子検出による間接証明が一般的となっている。今回、協力医療機関の判断によりいずれも抗菌薬投与前に検体が採取されており、被験者全てから百日咳菌が分離されている。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	10歳代	女	2016.03.30	インフルエンザA型、39℃ 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.05.12
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	5~9歳	女	2016.04.04	インフルエンザA型、40.6℃ 上気道炎、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.05.12
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	5~9歳	男	2016.04.04	インフルエンザA型、39℃ 上気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.05.12
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	0~4歳	男	2016.04.14	インフルエンザA型、40.3℃ 上気道炎	鼻汁	2016.05.12
インフルエンザウイルス B型(山形系統)	0~4歳	女	2016.04.12	インフルエンザB型、38.6℃ 上気道炎	鼻汁	2016.05.12
インフルエンザウイルス B型(山形系統)	5~9歳	男	2016.04.12	インフルエンザB型、40℃ 関節痛	鼻汁	2016.05.12
アデノウイルス3型	0~4歳	女	2016.04.20	アデノウイルス感染症、38.1℃ 結膜炎、眼脂	鼻汁	2016.05.18
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.13	エンテロウイルス感染症疑い 39℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.05.12
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.15	集団風邪、39.6℃、上気道炎 咳	咽頭ぬぐい液	2016.05.20
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.16	集団風邪、39.8℃、上気道炎 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.05.20
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.18	不明の発疹症、37.8℃ 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.05.20
エコーウイルス18型 ライノウイルス(再掲)	0~4歳	男	2016.04.21	集団風邪、不明の発疹症 39.4℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2016.05.20 2016.04.28
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.22	エンテロウイルス感染症疑い 集団風邪、37.6℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.05.19
エコーウイルス18型	0~4歳	女	2016.04.22	エンテロウイルス感染症疑い、37.6℃ 気管支炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2016.05.20
ライノウイルス	30歳代	女	2016.05.11	上気道炎~気管支炎、咳	咽頭ぬぐい液	2016.05.17
ライノウイルス	0~4歳	女	2016.05.13	急性細気管支炎、38℃	咽頭ぬぐい液	2016.05.17

○インフルエンザと診断された乳幼児4名からインフルエンザ AH1pdm09 型、2名からインフルエンザ B 型（山形系統）が分離された。

○呼吸器症状及び発疹を呈する乳幼児7名からエコーウイルス18型が分離された。エンテロウイルスは腸管だけでなく咽頭でも増殖し、呼吸器症状を呈することがある。集団風邪との因果関係は不明だが、咳や鼻水を介して、ウイルスが伝播することもあるので注意が必要である。

○気管支炎を呈する乳児1名と成人1名からライノウイルスが検出された。ライノウイルス感染症は一年中みられるが、特に、晩春、初秋に多いとされている。

## 全国 2016 年第 19 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	396 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	30 例	パラチフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	7 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	9 例	日本紅斑熱	5 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	23 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ感染症	4 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	65 例	水痘（入院例）	3 例
	梅毒	84 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	3 例	麻しん	3 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 123%と増加した（祝日を含む）。前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。減少した主な疾患はインフルエンザであった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,994 人(0.95)で前週比 125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.44)の約 2.2 倍であった。宮崎県(4.0)、山形県(3.4)、石川県(2.5)からの報告が多く、年齢別では 4～5 歳が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第20週(5月16日～5月22日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	61	50	4	9	2	6	29				
	定点あたり	1.03	0.85	0.25	0.90	0.29	1.20	5.80	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	4	8	4	3				1			
	定点あたり	0.11	0.22	0.40	0.50	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	29	22	3	2	4	5	3			3	2
	定点あたり	0.81	0.61	0.30	0.33	1.00	1.67	1.00	0.00	0.00	0.75	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	121	93	31	12	7	24	3	5	1	4	6
	定点あたり	3.36	2.58	3.10	2.00	1.75	8.00	1.00	1.25	1.00	1.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	340	319	74	65	20	58	42	17	8	27	8
	定点あたり	9.44	8.86	7.40	10.83	5.00	19.33	14.00	4.25	8.00	6.75	8.00
水痘	報告数	34	5	3				1			1	
	定点あたり	0.94	0.14	0.30	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	5	16	5	1	7			2			1
	定点あたり	0.14	0.44	0.50	0.17	1.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	22	32	11	10	2		6	1		1	1
	定点あたり	0.61	0.89	1.10	1.67	0.50	0.00	2.00	0.25	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	33	42	16	5	5	4	5	5		1	1
	定点あたり	0.92	1.17	1.60	0.83	1.25	1.33	1.67	1.25	0.00	0.25	1.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	5	2		2		1				
	定点あたり	0.22	0.14	0.20	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	143	123	3	2	19	1	41	15	14	28	
	定点あたり	3.97	3.42	0.30	0.33	4.75	0.33	13.67	3.75	14.00	7.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	12	8	4							
	定点あたり	1.83	2.00	2.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	4	2			2						
	定点あたり	0.57	0.29	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	6	1						1			
	定点あたり	0.86	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4	1								1	
	定点あたり	0.57	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～20週)

2類感染症	結核	77例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	4例
	アメーバ赤痢	9例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例	急性脳炎	7例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例	梅毒	5例(1)
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例		

( )内は今週届出分、再掲